

国語の力は成功のめやす

「国語の力が豊かなことと、成功との間には、驚くほどの関連がある……あらゆる分野において」という前書きで、「言葉の不思議な力」という文章が、1961年の「リーダーズ・ダイジェスト」の7月号に掲載されました。

アメリカの科学者、ジョンソン・オコナー博士が、人間工学研究所で、あらゆる職業から選んだ 35 万人以上の人を対象にテストした結果、多くのことばの意味を正確に知っているということが、他のどんな特性よりも、成功の原因である、ということを実証したというのです。

博士は、中学生・高校生・大学生・工場勤務者から、大会社幹部・監督級にまで、テストを行なって、地位の上下と収入が、国語の力と比例しており、国語の力は学校の成績にも比例している、とっています。

人はことばでものごとを考えます。ですから、理解することばの数

が多ければ多いほど、その人の思考の幅は広く、理解することばの深さが深ければ深いほど、思考の精密度も高いわけです。ことばを正確に、豊かに使う人が、あらゆる方面で成功しているのは、あたりまえのことだといえるのです。